

茨城県立古河第二高等学校 教科シラバス

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	介護実習	1 単位（35 時間）	福祉科・1 年
教科書（発行所）	なし		
教科書以外の教材（発行所）	介護総合演習・介護実習（中央法規）		
目 標	○施設・事業所の役割と介護従事者の役割を理解する。 ○多様な介護サービスの場における利用者について理解する。 ○利用者一人ひとりの生活や個性を尊重した介護技術とコミュニケーション技術を習得する。 ○介護従事者としての適切な記録の書き方を習得する。		
評価方法	<input type="checkbox"/> 実習への参加姿勢、記録の提出状況と内容充実度。 <input type="checkbox"/> 実習指導者の評価。 <input type="checkbox"/> 巡回指導時や実習前後の面談及び記録内容。		

月	学習内容	ねらい	学習活動
7	高齢者施設での実習 上旬 2日間	<ul style="list-style-type: none"> ・指導・助言を受け入れ、与えられた仕事に対して責任をもって行うことができる。 	<input type="checkbox"/> 実習
11	高齢者施設での実習 下旬 3日間	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の暮らしの場、生活支援の場について理解することができる。 ・利用者の1日の過ごし方を理解することができる。 ・コミュニケーションの大切さを知ることができる。 ・実習記録の書き方の基本を学ぶことができる。 ・介護従事者としての基本的な態度を身につけることができる。 	
授業の受け方・留意点		<ul style="list-style-type: none"> ● 実習内容を理解し、目標を持って取り組みましょう。 ● 学生としての自覚を持ち、誠実な態度で実習に臨みましょう。 	

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	介護実習	6単位（210時間）	福祉科・2年
教科書（発行所）	なし		
教科書以外の教材（発行所）	介護総合演習・介護実習（中央法規）		
目 標	<p>○施設・事業所の役割と介護従事者の役割を理解する。</p> <p>○多様な介護サービスの場における利用者について理解する。</p> <p>○利用者一人ひとりの生活や個性を尊重した介護技術とコミュニケーション技術を習得する。</p> <p>○多職種協働における介護従事者の役割について理解する。</p> <p>○介護従事者としての適切な記録の書き方を習得する。</p>		
評価方法	<p><input type="checkbox"/>実習への参加姿勢、記録の提出状況と内容充実度。</p> <p><input type="checkbox"/>実習指導者の評価。</p> <p><input type="checkbox"/>巡回指導時や実習前後の面談及び記録内容。</p>		

月	学習内容	ねらい	学習活動
6	高齢者施設・障害者支援施設での実習 9日間	・指導・助言を受け入れ、与えられた仕事に対して責任をもって行うことができる。	<input type="checkbox"/> 実習
9	高齢者施設・障害者支援施設での実習 9日間	・介護職としての専門的な対人援助関係を意識したコミュニケーションができる。	
12	高齢者施設・障害者支援施設での実習 9日間	<p>・利用者一人ひとりに合った現場での生活支援方法について知ることができる。</p> <p>・学校で学んだ生活支援技術を活用して、利用者の日常生活支援が実践できる。</p> <p>・生活支援の場における多職種の存在とその役割を知ることができる。</p> <p>・読みやすく分かりやすい記録を書くことができる。</p> <p>・介護従事者としての基本的な態度を身につけることができる。</p>	
授業の受け方・留意点		<p>●実習内容を理解し、目標を持って取り組みましょう。</p> <p>●学生としての自覚を持ち、誠実な態度で実習に臨みましょう。</p>	

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	介護実習	6単位（210時間）	福祉科・3年
教科書（発行所）	なし		
教科書以外の教材（発行所）	介護総合演習・介護実習（中央法規）		
目標	<p>○施設・事業所の役割と介護従事者の役割を理解する。</p> <p>○多様な介護サービスの場における利用者について理解する。</p> <p>○利用者一人ひとりの生活や個性を尊重した介護技術とコミュニケーション技術を習得する。</p> <p>○多職種協働における介護従事者の役割について理解する。</p> <p>○個別的な生活支援の基礎となる専門的知識・技術に基づいた介護過程を理解し、体験する。</p> <p>○介護従事者としての適切な記録の書き方を習得する。</p>		
評価方法	<p><input type="checkbox"/>実習への参加姿勢、記録の提出状況と内容充実度。</p> <p><input type="checkbox"/>実習指導者の評価。</p> <p><input type="checkbox"/>巡回指導時や実習前後の面談及び記録内容。</p>		

月	学習内容	ねらい	学習活動
5	高齢者施設・障害者支援施設での実習 13日間	・指導・助言を受け入れ、与えられた仕事に対して責任をもって行うことができる。	<input type="checkbox"/> 実習
10	高齢者施設・障害者支援施設での実習 14日間	<p>・個々の利用者の安全性、快適性に配慮した日常生活支援が提供できる。</p> <p>・自立支援と尊厳の保持に配慮した日常生活支援が提供できる。</p> <p>・多職種協働・連携の方法とあり方を学ぶことができる。</p> <p>・個々の利用者の支援に結びつく情報収集を行うことができる。</p> <p>・読みやすく理解できる記録を書くことができる。</p> <p>・介護従事者としての基本的な態度を身につけることができる。</p>	
授業の受け方・留意点		<p>●実習内容を理解し、目標を持って取り組みましょう。</p> <p>●学生としての自覚を持ち、誠実な態度で実習に臨みましょう。</p>	